

# バビロニアのユダヤ教

ラビ・ユダヤ教の完成と転換



# 3枚で見る古代ユダヤ史



砂漠で一神教



BC586  
バビロン捕囚



戻ってくるけど神殿崩壊AD70

キリスト教圏

イスラーム圏へ



# ユダヤ教の広がり 古代・中世史見取り図

1096十字軍  
13世紀以降  
黒死病  
異端審問

ヘブライ語聖書時代  
アブラハム・モーセ  
出エジプト・王国時代  
B.C.5766バビロン捕囚  
B.C.515.第二神殿時代  
A.D.70第二神殿崩壊

中世ユダヤ  
キリスト  
教圏

中世ユダヤ  
イスラーム社  
会

古代ユダヤ教

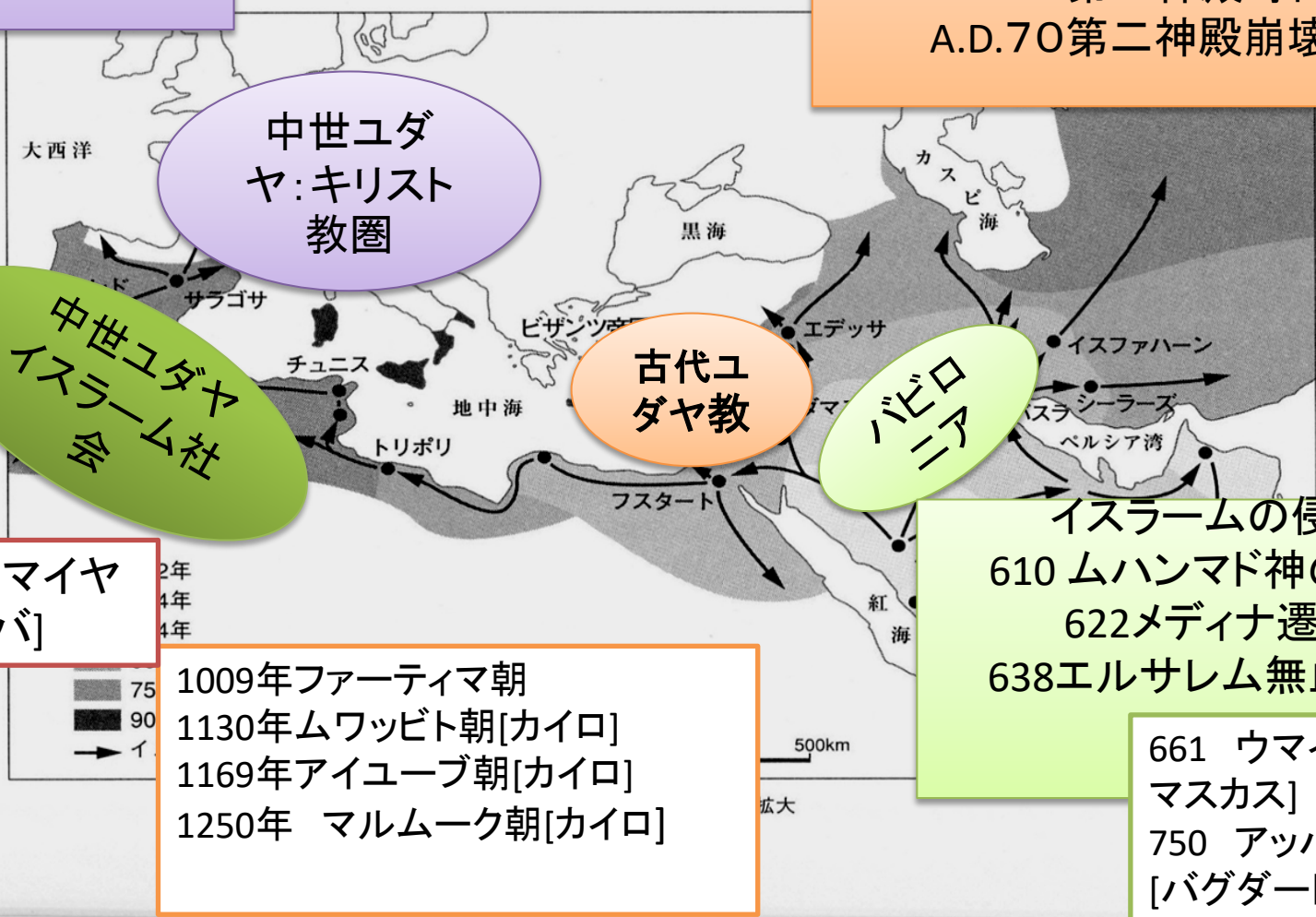
バビロニア

756 後ウマイヤ朝[コルドバ]

1009年ファーティマ朝  
1130年ムワッビト朝[カイロ]  
1169年アイユーブ朝[カイロ]  
1250年 マルムーク朝[カイロ]

イスラームの侵攻  
610 ムハンマド神の預言  
622メディナ遷都  
638エルサレム無血入場

661 ウマイヤ朝[ダマスカス]  
750 アッバース朝[バグダード]



# 中世ユダヤ史の流れ

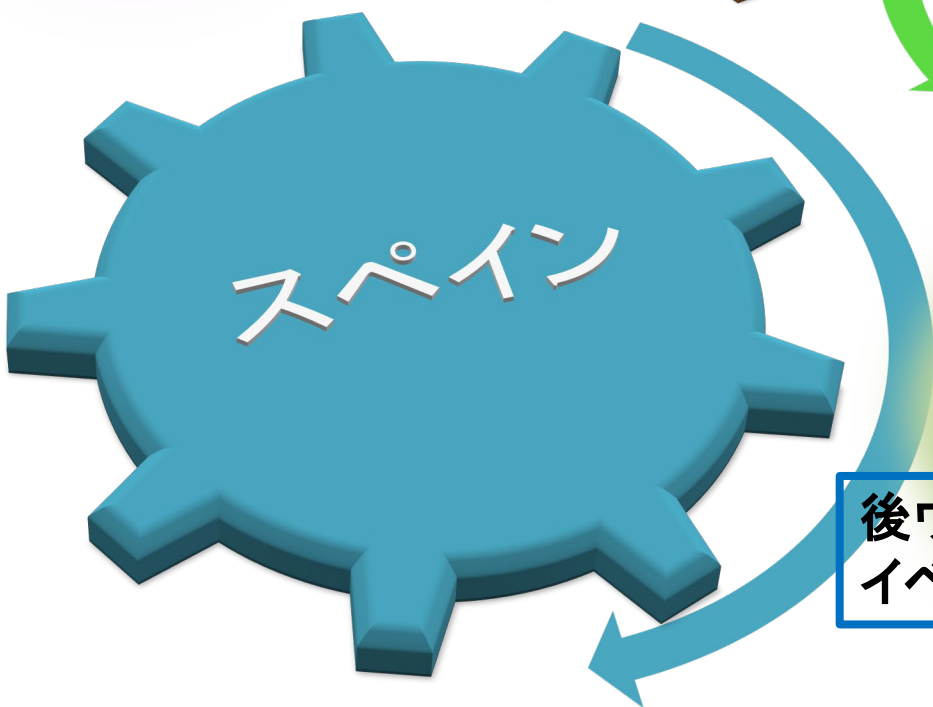
キリスト教圏



638 イスラム勢力  
エルサレム無血入城



イスラーム圏

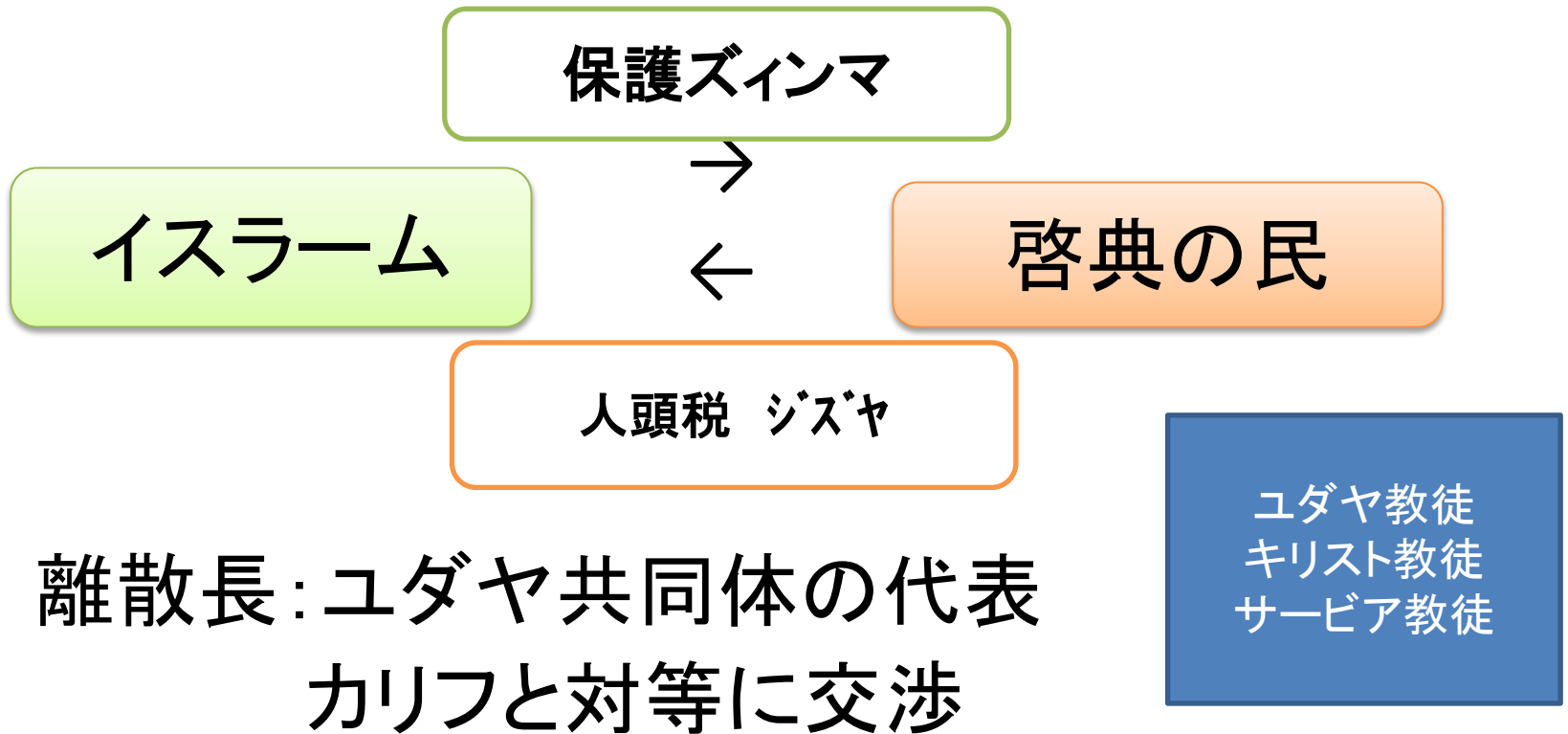


後ウマイヤ朝 756-1031  
イベリア半島へ、[コルドバ]



全ヨーロッパへ

# イスラーム支配下



# バビロニアのユダヤ教思想の展開 : 完成と反作用

◆カライ派との論争

ラビ・ユダヤ教  
の完成

離散長 vs 学塾長

バビロニアタル  
ムードの完成

サアディア・ガオン  
(892-942)の登  
場

・ 合理的思考の萌芽

◆イスラームの影響(ムータジラ[カラム]学派)  
知恵の館・翻訳事業・イスラーム科学

ウマイヤ朝 六六一 - アッバース朝 七五〇

後ウマイヤ朝、イベリア半島へ 756 - ユダヤの中心もイベリア半島へ

# ラビ・ユダヤ教の思考法

## ミシュナ・シャバット1. 1

貧者が外側に立ち、家主が内側にいて、

- ①(a) 貧者が手を内側に延ばして家主の手に乞い用の器をおくか、  
(b) もしくは家主の手から品物をとって搬出したなら、  
貧者は責務を負うが、家主は免責になる。
- ②(a) 家主がその手を外側に延ばして貧者の手に品物をおくか、  
(b) 貧者から器を取って内側に入れたならば、  
家主は責務を負うが、貧者は免責される。
- ③(a) 貧者がその手を内側に延ばして家主が貧者の手から物乞い用の器  
を取るか、  
(b) 家主がその中に物品を入れて貧者がそれを搬出したら、  
どちらも免責される。
- ④(a) 家主がその手を外側に延ばして貧者が家主の手から物品を取るか、  
(b) 貧者が家主の手の中に物乞い用の器を置いて家主がそれを内側  
に搬入したら  
どちらも免責される。

7日目にはそれぞれ自分のところにとどまりその場所から出てはならない。  
(出エジプト16:30)



# 安息日：ものの移動も制限

- ①(a) 貧者が手を内側に延ばして家主の手に乞い用の器をおくか、  
(b) もしくは家主の手から品物をとって搬出したなら、  
貧者は責務を負うが、家主は免責になる。
- ②(a) 家主がその手を外側に延ばして貧者の手に品物をおくか、  
(b) 貧者から器を取って内側に入れたならば、  
家主は責務を負うが、貧者は免責される。
- ③(a) 貧者がその手を内側に延ばして家主が貧者の手から物乞い用の  
器を取るか、  
(b) 家主がその中に物品を入れて貧者がそれを搬出したら、  
どちらも免責される。
- ④(a) 家主がその手を外側に延ばして貧者が家主の手から物品を取る  
(b) 貧者が家主の手の中に物乞い用の器を置いて家主がそれを内  
に搬入したら  
どちらも免責される。





# Vsラビユダヤ教：カライ派の出現 成文トーラーのみ！

- 「安息日には、あなた方の住まいのどこにも火を焚いてはならない」(出35.3)
- ↓
- 安息日、ろうそく禁止。暗闇、沈黙のまま。
- 「7日目にはそのところから出てはならない」
- ↓
- 安息日には外出禁止
- 祝祭、断食も独自の暦法によって



# VSラビ・ユダヤ教

## イスラームの科学・法学の影響

### 科学

ジャービル・イブン・ハイヤーン:

- 近代化学の基礎、塩酸、硫酸、硝酸の精製と結晶化法、アルカリの概念、クエン酸、酢酸、硝石酸の発見者
- フラリズミー: 代数学の基礎。アルゴリズムの語源
- 第7代カリフ、マアムーン: 地球測定のプロジェクト
- フナイン・イブン・イスハーク、知恵の館の主任翻訳官、プラトン『国家論』、アリストテレス『形而上学』
- ヒポクラテス、ガレノスの医学書の翻訳

法学: ムータジラ学派

合理主義的イスラム哲学

三つの原則

1. 神は完全なる統一体(タウヒード)、どんな属性にも帰せられない。
2. 人間は自由な代理人
3. 救済のために必要な知識は理性による

<https://youtu.be/FLay7RD3kEw?t=11>

10m



# 知恵の館(バイト・アル・ヒフマ)



図 17-

830年、アッバース朝7代カリフ、マアムーン  
がバグダッドに開設  
諸文明、翻訳の場  
古代ギリシア、ヘレニズム文化の翻訳、イス  
ラム世界への導入、唐からの製紙法  
⇒ユダヤ教徒のアラビア語化



# ラヴ・サアディア・ガオン892－942

## 【 キャッチ・コピー を！！ 】

- [上エジプト]出身、若くしてティベリアにて学ぶ
- 20歳にて、最初の大作『アグロン』:ヘブライ語辞書
- 23歳にてアナン・ベン・ダビッド(カライ派)と論争。[イスラエル]に居住
- 30歳(922)、暦に関して論争[アレツポ]→バビロニアとパレスティナの対立緩和
- [バビロニア]へ。『信仰と知識の書』執筆
- スーラの学塾長(ガオン)へ 初の外国人ガオン。が、任命した離散長とやがて対立



# 信仰と知識の書

- さて、いまや、私は、次のような予備的考察を完全に明らかにしたからには、私は、我々の主——彼が高められんことを——が、すべてのものの創造されたこと、そして彼がそれらを生から創造されたことを私たちに明らかにしてくれたと言おう。それゆえ、聖典には次のように、「初めに、神は天と地を創造された」(創1:1)と書かれている。また、「私は主、万物の造り主、自ら天を延べ、独り地を踏み広げた」(イザ44:24)とも言われている。それ以外にも、これは、彼によって、奇跡と驚異によって実証されており、私たちはそれを真理と受け取った。
- 次に、このことがはたして、預言によって実証されたように、理性によって支持されるかを検証した。そして、これがたくさんの方によって支持されることを発見した。その中でも、私は以下の4つの証拠を挙げよう。
- 最初は、有限性からである。つまり、天も地もともに有限なるものである。なぜなら、地は宇宙の中心であり、天はその周りを周回している。それゆえ、必然的に次のようになる。それらの中に帰属する力は有限である。というのは、有限の本体に無限の力が宿ることは不可能だからである。そのような可能性は、知られたところすべてから否定されているからだ。さあ、これら二つを維持している力が有限であるから、それらは必然的に最初と終わりがあることになる。



# 『信仰と知識の書』

- 1. 世界の創造について
  - 2. 神の一体性と他の神の属性
  - 3. 神の命令とその顕現の手段
  - 4. 人間の自由、神に従うか、従わないか。
  - 5. 徳と悪徳
  - 6. 人間の魂と不死
  - 7. 再生の教義
  - 8. メシアの時代とイスラエルの救済
  - 9. 来る世における報いと罰
  - 10. 黄金の手段
- ⇒ 初めての体系的なユダヤ教のプレゼンテーション



# ラビ・ユダヤ教の思考vs サアディア・ガオンの思想

- タルムード

- サアディア・ガオーン



# サアディア・ガオンの思想

- カラム(ムータジリ)派の影響

主題の配列 理性論⇒創造と創造主論

⇒自由意思、罰と報い、他⇒法律、預言論

⇒復活論、靈魂論

- 感覚sense perception が最初で最も重要な人間の知識の源泉

直観的な理性知識が、次のレベルの知識の基礎。





# 課題

- ラビ・ユダヤ教の思考法とラヴ・サァディア・ガオンの思考法の違いについて、じぶんの考えを論じなさい。
- また、ラヴ・サァディア・ガオンにキャッチ・コピーをつけてください。

